

平成27年度京田辺市水道事業会計予算の概要

平成27年度の京田辺市水道事業会計予算では、水需要の低迷に伴い水道料金収入が減少する一方、老朽化した施設・管路の更新や災害対策などの費用の増加に対応するため、事務事業の見直し等により効率的な経営を一層進めるとともに、企業債（借入金）残高の縮減など経営基盤の強化を図りました。

業務の予定量

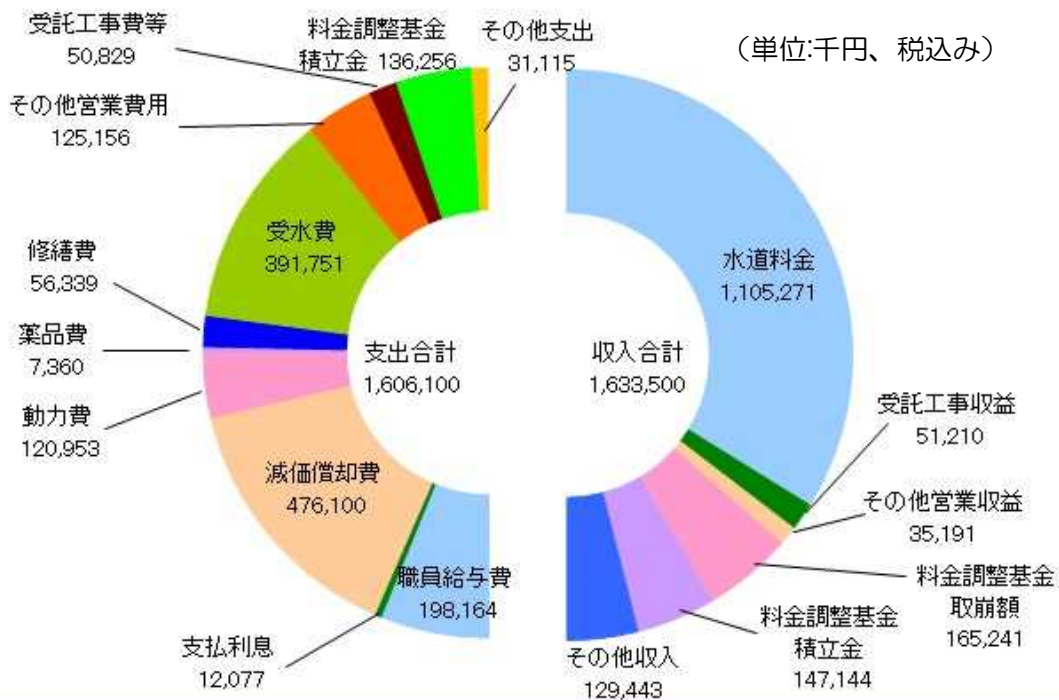
	平成27年度	平成26年度	増減	増減率
給水件数	21,430件	20,898件	532件	2.5%
年間総給水量	7,728,456 m ³	7,771,215 m ³	△42,759 m ³	△0.6%
1日平均給水量	21,116 m ³	21,291 m ³	△175 m ³	△0.8%

水道水を供給するための収益的収支

平成27年度の収益的収入の予算額（消費税を含む）は16億3千350万円で、水道料金収入や料金調整基金取崩額の減少などにより前年度に比べて△7千720万円（△4.5%）減少しました。

一方、収益的支出の予算額（消費税を含む）は16億610万円で、減価償却費は増加しましたが、京都府営水道からの受水費の減少などにより前年度に比べて△8千120万円（△4.8%）減少しました。

その結果、上記予算額から消費税を除いた損益収支は41万1千円の黒字となる見込みとなりました。

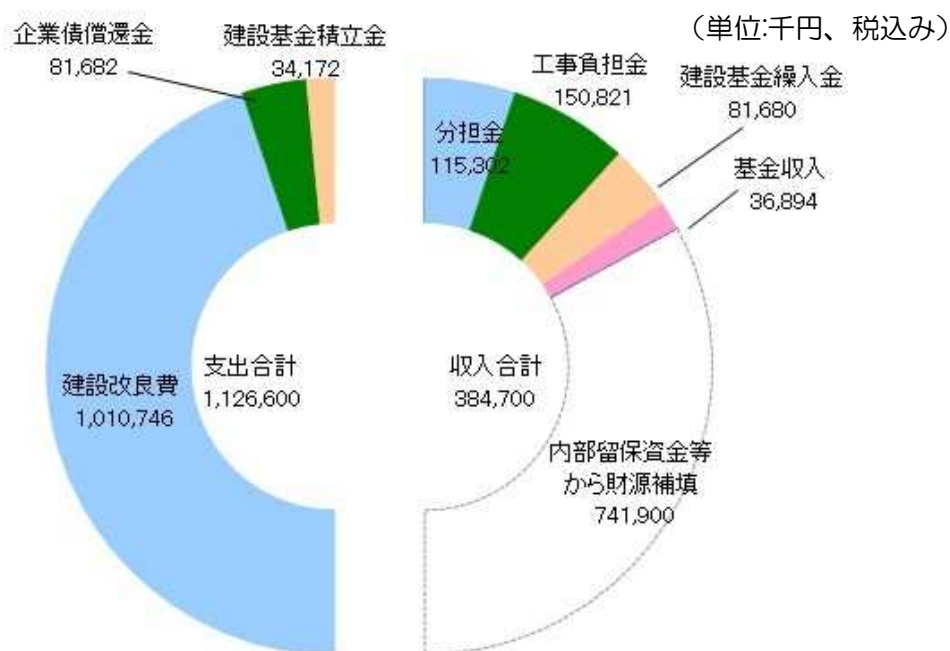


水道施設を造るための資本的収支

平成 27 年度の資本的収入の予算額（消費税を含む）は 3 億 8 千 470 万円で、分担金収入の減少などにより前年度に比べて△4 千 150 万円（△9.7%）減少しました。

一方、資本的支出の予算額（消費税を含む）は 11 億 2 千 660 万円で、松井ヶ丘地区での配水管改良工事費や薪浄水場などでの施設耐震工事費の増加により前年度に比べて 1 億 8 千 960 万円（20.2%）増加しました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 7 億 4 千 190 万円は内部留保資金から補填します。



【平成 27 年度の主な建設改良事業】

- ・ 松井ヶ丘地区配水管改良工事
- ・ 山手幹線（宮津工区）送水管移設工事
- ・ 薪浄水場及び宮ノ口受水場耐震補強工事

企業債（借入金）の概要

平成 26 年度末残高	372,810 千円
平成 27 年度借入額	—
平成 27 年度償還額	81,681 千円
平成 27 年度末残高	291,129 千円

基金の概要

	料金調整基金	建設基金
平成 27 年度末残高	833,979 千円	1,191,258 千円